

“事業仕分け”は、利用者・市民の意見を聞いて行うべき！

住民不在の「外部事業評価」、市民サービス切捨ての行財政改革では困ります



12事業が、なぜ外部評価の対象となったのかわかりません？

【選んだ視点】

実施意義が薄れている、慣例化している、現在の社会経済情勢に合致していない、市民ニーズの変化、効率性、直接市民に議論してもらいたい、受益と負担の関係への理解、評価の分かれるもの

.....
以上の理由で対象12事業を抽出し、外部評価を行うとありますが、住民の立場で見直しの検討が必要と言うより、行政の都合で切り捨てたい事業のように見えます。

- | | |
|-------------------|------------|
| 1、職員研修経費 | 2、市政だより |
| 3、救急搬送 | 4、さくらカード事業 |
| 5、国民健康保険会計繰出 | |
| 6、認可外保育施設助成金 | |
| 7、太陽エネルギー利用促進の方向性 | |
| 8、市電緑のじゅうたん事業 | |
| 9、くまもと城下祭り | |
| 10、火の国まつり・お城まつり | |
| 11、バスの不採算路線維持費の助成 | |
| 12、教職員研修経費 | |

利用者・住民の立場で検討できるとは思えないメンバー構成

【コーディネーター】 県立大学教授
(学識) 熊本大学
(経済界) 青年会議所
(自治体) 福岡市役所職員
(民間) 校区自治協会会長・NPO 法人
(公募委員) 2名 **合計 8人**

たった8名、1事業の審議わずか40分で、市民の声を代表し、十分な審議ができるでしょうか。一番大切な、各事業の利用者・関係者の意見を評価に十分反映し、十分に論議をすべきです。また、行政の事前説明を踏まえて評価することですから、行政に都合のいい意見がだされることも考えられます。

市政のムダ使いこそ、事業の必要性の是非が問われるべきです！

桜町再開発に計画がすすめられている大型コンベンション施設には、「事業の採算性はあるのか」など、疑問の声があります。監査請求まで出された合併特例区の区長・協議会

委員の高額報酬も改めるべきとの声があります。
住民の視点で「ムダ」と指摘されている事業こそ、意見を求め、見直していくべきではないでしょうか。

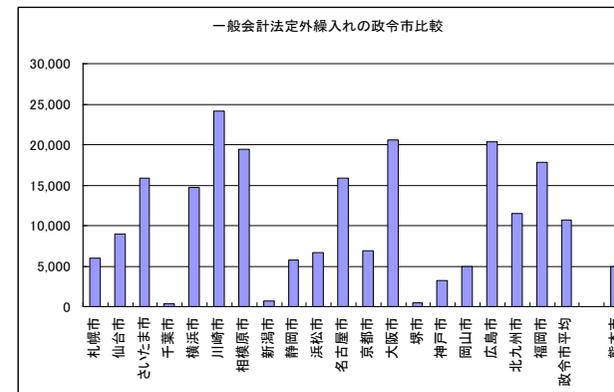
外部評価その1 「国民健康保険会計繰出」

国保の安定した運営には一般会計繰入の増額こそ必要

「保険料収入の減少、医療給付費の伸び等の要因により、単年度収支の均衡が困難な状況。医療給付費適正化や収納率向上などに取り組み、

一般会計繰り入れ増額を含む財政健全化を行っている。持続可能な制度としての論議をしていただく」といのが選定の理由と論点です。

処方箋ははっきりしています！ 他都市に比べ少ない一般会計繰入



国民健康保険会計への一般会計繰り入れの法定外分を政令市と比べると、一人当たりで、政令市平均は10,744円、熊本市は4,977円で、半分以上しかありません。

一方で、保険料の負担が重い

一人当たり保険料 (H21) は、
政令市平均 92,537円
熊本市 91,331円
↓
今年度値上後 101,231円 (H23)

今年4月の値上げによって、一人当たりの保険料で、政令市平均を1万円も上回る負担になっています。一般会計繰り入れを増額し、保険料を引き下げ、払える保険料にしていく必要があります。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団
ますだ牧子 上野みえこ なすまどか
熊本市手取本町1-1 議会棟3階

NO. 764
2011年8月
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/